

第 20 回教育研究審議会

議事概要

開催日:平成 31 年 1 月 30 日 (水)

場 所:本部棟 3 階大会議室

出席者: 福田誠治学長、阿毛久芳副学長、新保祐司副学長、谷内治彦事務局長、小林重雄理事、西尾理学長補佐、平野耕一学長補佐、加藤めぐみ学長補佐、樋口雄人学長補佐、加藤敦子国文学科長、中地幸英文学科長、山本芳美比較文化学科長、寺川宏之学校教育学科長、高田研地域社会学科長、竹島達也大学院研究科委員長、野中潤図書館長(兼)情報センター長、廣田健教職支援センター長、大辻千恵子国際交流センター長、豊嶋朗子語学教育センター長、市原学入学センター長

欠席者: 竹下勝男地域交流研究センター長

■挨拶

福田誠治学長よりあいさつ

議 事

- (1) 専任教員の採用について (新国際教育学科改編準備室) (投票)
 - ◇国際教育 (国際バカロレア)
 - 担当から資料 1 に基づき説明。投票の結果、信任多数により承認。

- (2) 専任教員の採用について (地域社会学科)
 - ◇国際政治学
 - 担当から資料 2 に基づき説明。2 週間の閲覧に供し、次回投票する。
 - ・教員選考内規の第 3 条第 2 項(3)の前者か後者のどちらを適用したのか。
→後者の方で非常勤講師をしながら、専門分野の研究に関わってきている。
 - ・応募者の選考過程の表を閲覧時に追加しておく。

- (3) 特任教員 (C タイプ) の採用について (新国際教育学科改編準備室)
 - ◇交換留学生のインターンシップ指導 (特任 C タイプ)
 - 担当から資料 3 に基づき説明。2 週間の閲覧に供し、次回投票する。

- (4) 特任教員 (C タイプ) の更新について (英文学科) 1 件
 - ◇英文学科 (特任 C タイプ)
 - 担当から資料 4 に基づき説明。提案通り承認。

- (5) 特任教員 (C タイプ) の更新について (新国際教育学科改編準備室) 2 件
 - ◇新国際教育学科改編準備室 (特任 C タイプ)
 - 担当から資料 5-1、5-2 に基づき説明。提案通り承認。

- (6) 特任教員（Cタイプ）の更新について（情報センター） 1件
◇情報センター（特任Cタイプ）
○担当から資料6に基づき説明。一部修正し承認。
・年齢延長は68歳から69歳に該当。
- (7) 非常勤講師担当科目コマの発議・提案について（国際教育学科） 1件
○担当から資料7-1に基づき説明。提案通り承認。
◇オリエント史、東西文化交流史
○新保副学長から資料7-2に基づき説明。提案通り承認。
・担当予定者休職のための提案。
- (8) 非常勤講師担当科目コマの発議・提案について（学校教育学科） 2件
○担当から資料8-1に基づき説明。提案通り承認。
◇図画工作実技演習（立体）他
○担当から資料8-2に基づき説明。提案通り承認。
・来年度担当予定者に対する減コマ措置のための提案。
◇図画工作実技演習（平面）他
○担当から資料8-3に基づき説明。提案通り承認。
・来年度担当予定者に対する減コマ措置のための提案。
- (9) 非常勤講師担当科目コマの発議・提案について（地域社会学科） 1件
○担当から資料9-1に基づき説明。提案通り承認。
◇東洋史学
○担当から資料9-2に基づき説明。提案通り承認。
・担当予定者休職のための提案。
- (10) 非常勤講師担当科目コマの発議について（英文学科）
○担当から資料10に基づき説明。提案通り承認。
◇言語文化第1演習Ⅳ
- (11) 専任教員の昇任について（国文学科） 1件
◇国文学科専任教員（講師→准教授）
○担当から資料11に基づき説明。2週間の閲覧に供し、次回投票する。
・14番の学術論文は委員会でも論文として判断されたのか。
→「文学」への掲載は国文学の世界では非常に高く評価される論文と判断される。
- (12) 専任教員の昇任について（学校教育学科） 3件
◇学校教育学科専任教員（准教授→教授）
○担当から資料12-1に基づき説明。2週間の閲覧に供し、次回投票する。
◇学校教育学科専任教員（准教授→教授）
○担当から資料12-2に基づき説明。2週間の閲覧に供し、次回投票する。
◇学校教育学科専任教員（講師→准教授）
○担当から資料12-3に基づき説明。2週間の閲覧に供し、次回投票する。

- (13) 専任教員の昇任について（地域社会学科）1件
◇地域社会学科専任教員（准教授→教授）
○担当から資料13に基づき説明。2週間の閲覧に供し、次回投票する。
- (14) 平成31年度非常勤講師の授業担当科目について（継続 第6回）
○担当から資料14に基づき説明。提案通り承認。
・「人間形成と文化」については、担当者が他大学の専任教員となったので、別の教員が担当する。
・「比較文化専門講読ⅠA」については、比較文化学科が大学院の授業がなくなった影響で別の教員が担当する。
- (15) 平成31年度非常勤講師の授業担当科目について（取消 第4回）
○担当から資料15に基づき説明。提案通り承認。
・「比較文化専門講読ⅡB」は、比較文化学科が大学院の授業がなくなった影響で取り消し。
- (16) 都留文科大学履修規程別表第11自由科目の改正（案）について
○担当から資料16に基づき説明。提案通り承認。
・2種類あった自由科目の表を1つに合わせた表に改正する。
- (17) 教職カリキュラム運営委員会規則(案)の制定について
○担当から資料17に基づき説明。提案通り承認。
- (18) 語短期語学研修（フィリピン）の提案について
○担当から資料18に基づき説明。提案通り承認。
・来年の春休み（2月中旬から3月中旬）にフィリピン語学研修を国際交流センターの事業として実施したい。
- (19) 初等教育学科非常勤講師の問題について
○次回審議する。
- (20) 交換留学の将来について
○次回審議する。

3 報 告

- (1) ANA 総研委託講師の交代について（英文学科）
○担当から資料21に基づき報告。
・グローバルキャリアプログラムの科目を担当するANA総合研究所の講師が2019年4月から交代する。
- (2) プロジェクトⅠの報告について
○担当から資料22-1～22-3に基づき報告。
・プロジェクトでは、探求（探究）と協同（共同、協働）の使い方について確認する。
・教授会で資料を配り説明していく。

(3) 退任後の研究室図書取扱いについて

○次回報告する。

(4) 平成31年度オープンキャンパス日程について

○担当から資料24に基づき報告。

- ・教育研究審議会では開催日を提案通り8月の2日間と10月の2日間とする。ただし、学科で議論しこの日程では心配ということであれば、追加で開催する提案をしてもらう。
- ・事務的には来場者が多く来た場合の対処法（事前予約を優先するなど）を考える。

(5) 入試改革について

○担当から資料25に基づき報告。

- ・2021年度入学者選抜について、3月までに選考方法を告知しなければならない。
- ・2月13日に入学センター運営委員会があるので、そこまでにはある程度固めてもらう。
- ・センター利用推薦は全学科でやった方がいいと思われる。
- ・英語の外部試験の取り扱いについて教えてほしい。
→各学科で様々で、学校教育学科では共通テストと外部試験の併用を考えている。
また、英文学科では外部試験を推薦入試の受験資格としても考えている。

4 その他

○特になし

5 閉 会

以上